

平成28年度教育委員会事業点検・評価(平成27年度事業)整理表
【教育行政評価委員会総合評価・今後の方向性・個別事業ごとの意見】
(教育課)

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
1	勤労青少年ホーム管理運営事業	B	現状のまま継続	B	・適切な維持管理の継続	利用頻度も高く、町民にとって必要不可欠な公共施設としての機能を十分に果たしている。また、施設管理・維持に取り組んでいることは評価に値する。今後も町民が安全・安心して利用できるよう修繕に取り組み、生涯学習の向上や福祉増進に向けて、利便性を図りながら継続を望む。
2	多目的研修集会施設管理事業	B	現状のまま継続	B	・適切な維持管理の継続	利用件数、延べ人数共に前年度を上回り、町民の生涯学習の拠点として有効活用されている。また、修繕工事がなされるよう効率的な予算配分がなされている。今後も一層、充実した施設運営に期待したい。
3	教育委員会運営事業	B	現状のまま継続	B	・現状のまま継続	定例会や臨時会が適宜開催され、重要課題に対して早期対応が図られ、教育の充実と発展のため適正に運営されている。少子化に伴う小学校統合問題については、住民の意見をしっかりと集約・議論し、対応に遅れが無いようにしていただきたい。
4	事務局事業	B	現状のまま継続	B	・基礎学力向上の推進 ・教育振興対策の充実	施設管理・人事管理が適切に運営されており、学力テストや教員研修等のきめ細やかな取り組みがなされている。今後も学校間の連携を深めながら、基礎学力の向上・教育の振興対策がさらに充実されるよう期待する。
5	森林環境学習事業	B	現状のまま継続	B	・現状のまま継続	町の環境を生かした総合的学習の教育課程に適切に位置づけられ、温暖化など地球環境のグローバルな視点にまで発展させた学習が各学校で実践されている。自然環境教育は重要なものであり、今後も工夫した取り組みを工夫したい。
6	スクールバス運行事業	A	現状のまま継続	A	・安全安心な送迎の継続	広い地域内の効率的運行は難しい面があるが、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減のため適切に運営され、毎年ルートや乗降場所を見直しながら柔軟に対応されている。また、平日以外にも学校行事に対応したバス運行をしていて、町民のニーズに大きく寄与している。今後も保護者とのコミュニケーションを重ね、安全・安心な運行を願う。
7	小学校管理事業	A	現状のまま継続	A	・環境整備の継続	各小学校の維持管理のための予算配分と執行が適切に行われているとともに、各学校とも管理運営が適正に行われている。今後も計画的な維持管理を期待する。
8	小学校教育振興事業	A	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	各学校の教育充実のための支援が適切に行われている。特に、音楽教育・IT教育の充実や学力向上対策のための予算配分や事業が適正になされている。今後も教材整備の充実を図り、教育活動の質、教員の資質向上に向けた経費の支出を期待する。

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
9	中学校管理事業	A	現状のまま継続	A	・環境整備の継続	中学校の維持管理のための予算配分と執行が適切に行われているとともに、各学校とも管理運営が適正に行われている。今後も生徒が過ごしやすい環境を提供し、勉学、スポーツに集中できる様、計画的維持管理に向けた取り組みに期待する。
10	中学校教育振興事業	A	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	小野中学校の教育充実のために適切に支援を行っている。特に、音楽教育・IT教育の充実や学力向上対策のための予算配分や事業が適正になされている。町に一つの中学校として、町民の関心は高く、運動面での活躍は町民に元気をもたらしている。教材、備品の充実は勿論、今後も教育活動の質、教員の資質向上に向けたバランスある教育振興を期待する。
11	社会教育総務事業	B	現状のまま継続	B	・現状のまま継続	町の生涯学習の根幹をなす事業であり、社会行政に対する外部評価や意見を聴取するなど効果的に事業を展開している。また、県社会教育研究会開催の事務局を担当して、県中地区社会教育発展に寄与した。今後も各委員の意見を反映させながら、社会教育行政の充実と運営に推進して欲しい。
12	生涯学習振興事業	B	さらに重点化	B	・幅広い年齢層に応じた事業展開の充実 ・若年層を取り込めるような事業の推進	地域の活性化や町民の生きがい充実のための事業が有意義に展開されている。住民のニーズは多様であり、各年齢層への的確な対応は大変難しいが、住民のニーズや事業内容を分析・精査し、若い世代を取り込めるような事業等、内容や方法をさらに工夫した推進を期待したい。
13	国際交流事業	B	見直しの上継続	B	・見直しの上継続	外国人社会教育指導員の配置による英会話教室や学校における英語指導が充実しており有効に活用されている。また、縮小見直しを進める自治体が多い中で、外国都市との交流事業を引き続き推進していることは素晴らしいことである。中学生の派遣事業については、研修内容をさらに検討したり、質の向上を図るなど発展的な継続を望む。
14	公民館管理運営事業	B	見直しの上継続	B	・見直しの上継続 ・分館の有効活用について見直し	地域住民の会議、レクリエーション、各種行事等に有効に活用され、生涯学習の施設として十分に機能している。一部公民館の有効な活用方法については引き続き慎重に地域住民とともに検討してもらいたい。
15	一般管理事業(郷土史料館)	B	さらに重点化	B	・さらなる充実を図り継続	新規に「子どもの笑顔の広場」を開設し、複合施設としての利便性を活用した親と子供がくつろげる場所が提供されている。地域の芸術、文化、歴史、民俗の研修活動拠点として十分に機能している。今後も施設環境を増やし、魅力ある事業の展開を望む。
16	丘灯至夫記念館管理運営事業	A	現状のまま継続	A	・PR活動の推進	丘灯至夫氏を郷土の誇りとして顕彰をしていることがうかがえ、功績と実績を知る資料が整備、展示されている。町の活性化にも繋がるよう、さらに町内外にPR来館を促す事業を期待する。

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
17	図書館管理運営事業	B	さらに重点化	B	・幅広い年齢層に対応した事業展開の推進	図書の充実や読書活動の推進に努めたり、情報収集の場としての適切な運営に当たっている。高校生以上の読書や活字離れが顕著であることから、青年層・社会人の読書意欲を喚起させる事業や家族みんなで読書の楽しさを共有できるような工夫された事業の展開を期待する。
18	美術館管理運営事業	A	現状のまま継続	A	・さらなる充実を図り継続	特別展・企画展が工夫されており、町内外の多くの人が様々な芸術作品に触れる機会があり評価できる。施設の管理も適切に運営されていて、文化芸術に親しむ場となっている。今後は更なる来館者の増加を期待する。
19	文化財保護事業	A	さらに重点化	A	・現状のまま継続	町の重要な文化財について、映像記録化など文化財の保護事業が地道に行われている。文化保護審議会や県関連機関との連携協力のもと適切に文化財の保護や伝承に努めている。今後も関連機関と連携し、引き続き積極的な保護を望む。
20	社会体育総務事業	B	現状のまま継続	B	・さらなる充実を図り継続	町体育協会や各スポーツ団体が充実した活動を行うための振興が図られ、各種大会や教育等を実施するなど、活発に事業が展開されている。また、各種事業への補助も適切に支出されている。スポーツ推進者の育成や健康促進につながるように、さらに各種スポーツ大会、スポーツ振興事業に力をいれてほしい。
21	スポーツ振興事業	B	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	各種スポーツ大会や教室が活発に行われている。有名人を講師に招いてのスポーツ教室等、スポーツや運動への関心を喚起し、技能の向上を図る機会が設けられている。今後も広報活動に力を入れ、町民の健康増進、生涯スポーツの事業展開を期待する。
22	学校体育施設開放事業	B	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	各学校の体育施設が適切かつ十分に活用されている。学校体育施設は、地域住民にとって身近なスポーツの場として欠かせない施設であり、手軽に利用できる場として今後も事業の継続を望む。
23	体育施設事業	A	現状のまま継続	A	・さらなる充実を図り継続 ・PR活動の推進	各施設の維持管理並びに運営が適切に行われている。新たに整備された屋内運動施設の有効な活用を図り、町内外に広くPRし利用者の増加を目指してほしい。
24	給食センター管理運営事業	A	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	安定供給が図られ、給食センターの役割が十分に果たされている。今後とも安心安全な地元食材の活用などに力を入れ事業を継続してほしい。

No.	中事業名称	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政評価委員会		
				総合評価	今後の方向性	コメント(意見・評価)
25	学校給食検査体制整備事業	A	現状のまま継続	A	・現状のまま継続	食材の検査体制がよく整備され、安心安全な学校給食の提供がなされている。今後も引き続き放射性物質検査は継続してほしい。
26	文化・体育振興事業	B	見直しの上継続	B	・有効的な基金活用のための事業精査	芸術文化団体、個人への表彰、各種大会への補助など文化体育の振興の向上に寄与しており、町民の文化体育活動の励みになる事業であるため必要性は高い。限られた基金内での運用なので金額・補助内容の精査・見直しが必要である。